

〈10kg 以下ガスボンベ〉 パラソルパティオヒーター【パティオ君】 取扱説明書



目次

- ・メーカー取扱説明書
- ・組立方
- ・点火方法
- ・梱包手順

ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店



〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

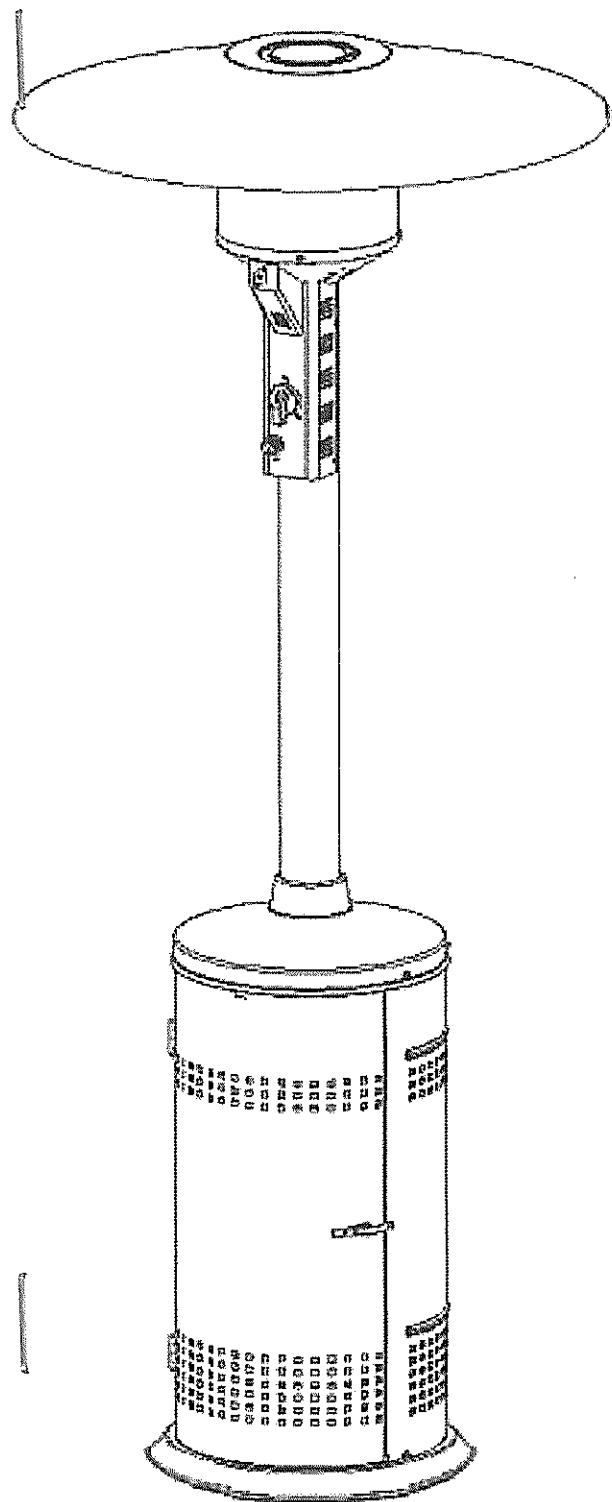
緊急連絡先：080-5643-7181

ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店ホームページへアクセスする場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



パティオヒーター SPH1200

取扱説明書 (DモデルCモデル共有)



警告

もし間違った取扱いをされた場合には大変危険を及ぼしますので、この製品をご使用なされる方は、説明にきちんと従った組立てと操作使用に注意して下さい。

この取扱説明書の記載事項を守られない場合は身体の怪我や製品の破損を及ぼします。

注意

- この製品とガスボンベの接続及び交換は、必ず資格を持つガス供給業者にご依頼ください。
- この製品の近くで、ガソリンなどの可燃性液体やガスの保管、使用、漏れが無いことをご確認ください。
- この製品を使用されないで保管されるときには必ずLPガスボンベは外してください。

もしもガスの臭いを感じたら

- ガスボンベの元栓を閉めて、他の使用製品の全ての火を消してください。
- この製品の近くで、電気製品や石油製品をご使用なさらないでください。
- ご使用設置場所の換気をおこなってからガス漏れの原因を調べてください。

この製品は屋外でのみご使用下さい。
製品の組立ては、この説明書に従いじゅうぶんご注意願います。
この取扱説明書は保存して下さい。

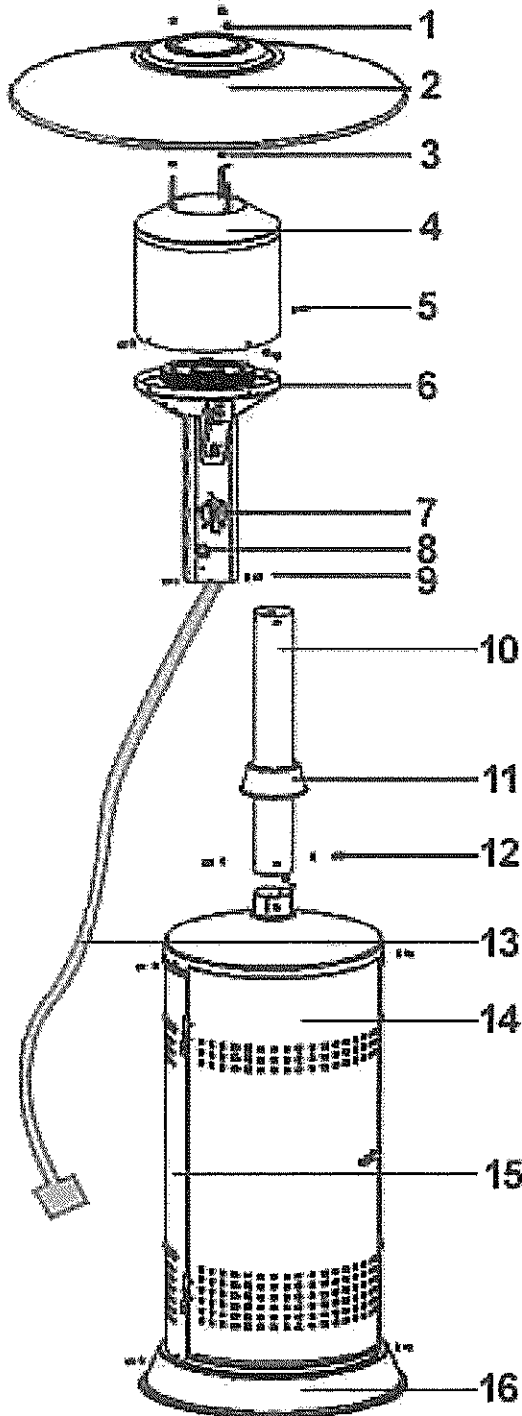
この製品は屋外でのみご使用いただけます。

禁止された場所でのご使用は、怪我や死または物的損害を引き起こすかも知れませんので、ご使用前にこの説明書をお読みください。

- この製品に使用する燃料は、LPガス専用です。
- 可燃物または可燃性液体や可燃性気体の有る近くではご使用なさないで下さい。
- ご使用前に、お買上げ製品の部品（燃焼バーナーなど）に損傷がないかご確認ください。
- この製品を動かす場合には、必ずボンベの元栓を閉めて下さい。
- 部品の位置を変えたり、いかなる改造も行わないで下さい。
- この製品は地盤のしっかりとした平らな場所に設置してください。設置の際に水平器などを使用して製品に傾きがないかご確認ください。
- 屋外使用にあたり、常に新鮮な空気の換気があることを確認してください。
- 引火性の有るまたは腐食性を及ぼすクリーナーはご使用なさないでください。
- リフレクターへのカーボンスス付着の堆積は、火災の危険性がございますのでぬるま湯で溶いた中性洗剤をご使用し洗浄後再度真水で洗い流し拭き取って下さい。
- 本体及びリフレクターに塗装はなさないで下さい。
- 製品をご使用なさない時には必ずガスの元栓を閉じてください。
- 雨や雪の当たる場所でのご使用なさないで下さい。
- お子様が近寄って製品を叩いたり、寄り掛かったりすることも有り得ますので注意を呼びかけてください。
- 以下の可燃物からの距離は必ずお守りください。
壁からの最低距離—1メートル 天井からの最低距離—1メートル
- 少なくとも1年に1回はバーナースクリーンを取り外し、蜘蛛や蜘蛛の巣、昆虫が入っていないか確認してください。
- 次のような場合には直ぐに製品をチェックしてください。
 1. ガスの臭いがする。
 2. ヒーターが温度に達しない。
 3. 燃焼中にポンとはじける音がする。（消化したときの音は異常ではありません。）
- もしガスの臭いがしたら、直ちに器具詮ツマミをOFFに回し、それでも臭いが続くようでしたら、ガス屋さんまたは販売店に連絡してください。
- 頭上部は大変高温になっていますので、可燃性の服を着た大人や子供には注意を呼びかけてください。

- 小さなお子様が製品の近くにいる時には、特に監督してください。
- 布切れや可燃性の物を本製品に掛けないで下さい。また近くに置かないで下さい。
- 製品の燃焼部分の掃除には、ガゾリンや可燃性スプレー・液体は使用なさないで下さい。
- 燃焼部分や吸気口を塞いだりしないで下さい。
- ボンベ収納ケースの吸気口はいつも掃除し綺麗にしておいてください。
- 本製品を室内に保管する時には、必ずボンベを取り外し、汚れを落とし、カバーで覆ってください。
- 本製品の改造は、製品の安全性を阻害するものです。絶対になさないで下さい。

部品リスト



番号	部品名	数量
1	M6袋頭ナット	3
2	リフレクター	1
3	M6ワッシャー	7
4	バーナースクリーン	1
5	M5x10ネジ	4
	M5ワッシャー	4
6	バーナー	1
7	器具詮ツマミ	1
8	乾電池ケース	1
9	M5x10ネジ	4
	M5ワッシャー	4
10	センターポール	1
11	プラスチックキャップ	1
12	M6x12ネジ	4
	M6ワッシャー	8
13	ガスホース	1
14	ボンベ収納ケース	1
15	開閉ドア	-
16	ボンベ収納ベース	1

** パティオヒーター組み立て方 **

パティオヒーターの4部分を、お客様に組み立てて頂きます。

説明書の順番で組み立てて、約10分位で組み立てられます



【リフレクター(パラソル)】



【バーナーユニット】



【ガスコード】



【センターポール】



【ガスボンベ収納



ガスボンベ収納ケース
とセンターポールを止め
るM6×12ネジとワッ
シャー4個



センターポールとバー
ナーユニットを止める
M5×10ネジとワッ
シャー4個



バーナーの頭とリフレク
ターを止めるM10袋頭
ナットとワッシャー3個

①



バーナー部分とリフレクターを写真の様に持って
バーナー部分とリフレクターを3個の袋頭ナットと
3個のワッシャーで止めてください。
この部分は付属のスパナでしっかり止めてください。

②



リフレクターの天井のネジを止めている状態

** パティオヒーター組み立て方 **

③



ネジでしっかり止めたら写真の様にリフレクター部分をひっくり返してください。

ガスコードの細い方をバーナーにしっかりと接続してください。

太い方はガスボンベの接続口になります。

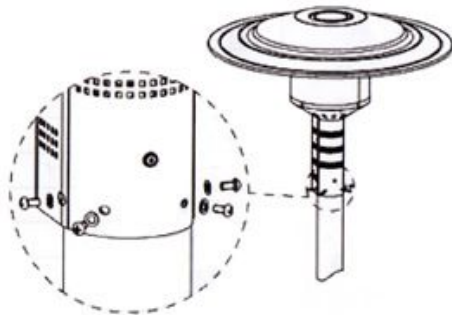
④

ガスボンベ収納庫



バーナーユニット側

⑤



センターポールの上下を確認して写真の様にガスホースをセンターポールに通して4個のM5×10ネジとワッシャーを使ってドライバーで固定します

⑥



ドライバーでネジを閉めている状態

** パティオヒーター組み立て方 **

⑦



プラスチックカバーの上下を確認して写真の様にセンターポールに通してください

(プラスチックカバーは付属していないものも
ございますが、使用には問題ございません)

⑧



リフレクターの部分とバーナーの部分の接続ができた
写真の様にセンターポールを持ってガスホースの先を
ボンベ収納ケースに差し込みます。

⑨



ガスボンベ収納ケースのカバー上部に
センターポールを差し込み4個のM6×12ネジと
ワッシャーを使用して固定します。

※センターポールをガスボンベ収納ケースに
取り付けてから、バーナー部分を取り付けると、
大変取り付け辛いです。

【手順6】で、センターポールとバーナー部分を
取り付けて下さい。

⑩



ネジで固定したらプラスチックカバーを下げてくださ
これで組み立て完了です。

(プラスチックカバーは付属していないものも
ございますが、使用には問題ございません)

** パティオヒーター組み立て方 **

⑪



ガス屋さんにプロパンガス8キロ以下を
注文して接続してもらってください。

「両端迅速継手付きガスコードがついているので
ガスボンベに調整器とL型可とう管コックを
つけて納品時に燃焼器用ホースに接続してください」
と頼んでください。

⑫



車輪が付いていますので移動は傾けて行います。

点火の操作

1. 器具詮ツマミがOFF位置に有るのを確認したら、ガスボンベの元栓をゆっくりと開けます。
2. 器具詮ツマミを押すとパチパチパチと音がして放電しますので、押したままの状態ですら反時計回りに回すと点火します。
3. 点火を確認したら器具詮ツマミを押したままの状態を約5秒保持してください。

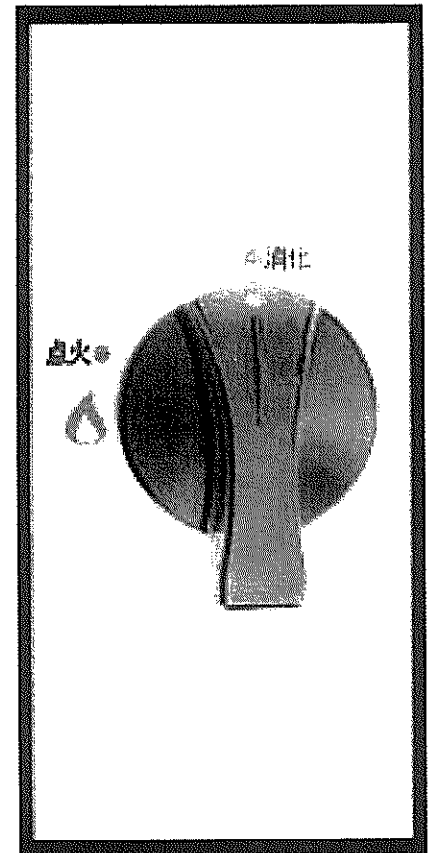
※点火ボタンを押し続けても5秒以内に点火しない時、または、器具詮ツマミを離すと火が消えてしまう時には、器具詮ツマミを消化の位置に戻し、再度2から始めます。

消化の操作

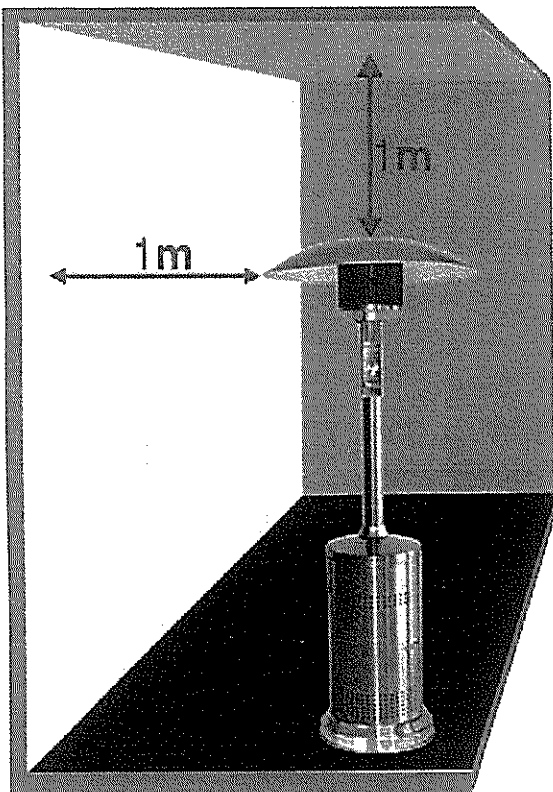
1. 器具詮ツマミを時計回りに消化の位置まで回して消化を確認してください。
2. ガスボンベの元栓を閉めてください。

※点火ボタンを押した時に、放電スパークがおこなわれない時にはマッチを使用して点火する事も可能です。

※初めてお買上げ時には、試験用乾電池が付属しておりますが、必ず新しい単3乾電池に取り替えてご使用願います。乾電池の取り付けは、乾電池ケースのキャップを反時計回りに回して乾電池のマイナス面から挿しこんでください。



設置の仕方



この製品は屋外でのみご使用ください。

周囲に可燃性の壁や天井がある場合には壁とリフレクター外周との間隔は最低1m以上離して下さい。天井とリフレクターの上部との間隔は最低1m以上離して下さい。設置される床面は必ず平らな場所に設置して下さい。

本製品は国内技術基準に従い20度に傾けても倒れないようにウェイト balancer (17Kg 錘) をシリンダーベースに取り付けてありますが、強風等の外的要因からの転倒防止を保証するものではありません。

尚強風時には本製品をご使用なさらずに安全な場所へ移動させて下さい。

必ずじゅうぶん換気がなされる場所へ設置して下さい。

セキュリティワイヤーの使用

多くの不特定多数の人達が入り出る場所にてこの製品をご使用される場合には、製品に異常を感じた時直ぐに消化と共にガスの元栓を止める事ができるように、取り扱い管理をお願い致します。

セキュリティワイヤー(Cモデル)は付属しておりません。本製品に異常を感じた時あるいは事故や災害時には、ドアを開けて速やかにボンベの元栓を閉めて頂ける状態であればなりません。セキュリティワイヤー(又は錠)は必要に応じてご用意をお願いします。

ボンベ収納ケース外側のハンドルに通してご使用ください。
また保管時の盗難防止用にご使用いただけます。

メンテナンスと清掃

- この製品は常にきれいにすることを心がけてください。
- 修理を必用とする場合には、専門の技術者にご依頼願います。
- 部品交換を必要とする時には、販売店にお申し出下さい。
- メンテナンスの際は、必ず消化後40分以上経過し、じゅうぶんヒーターが冷めている事を確認して下さい。更にガスの元栓は閉めて下さい。
- 清掃をする際、可燃性のもの、腐食を及ぼすクリーナーはご使用なさないで下さい。
- この製品は、ステンレスが使用されています。ステンレスは、塩化物と硫化物の作用を受けて酸化したり錆びたりする傾向があります。特に沿岸地域や、プール温水浴槽の近くではご注意願います。この為、錆の着色防止と除去をおこなうには、3-4週間おきに真水で洗うか、ステンレス専用クリーナーをご使用下さい。但し、ガスコントロール内には水を掛けしないで下さい。
- この製品の表面をきれいにするには、ぬるま湯で溶いた中性洗剤をご使用願います。研磨クリーナーやスチールウールはご使用なさないで下さい。洗浄後、再度真水で洗い流し拭き取って乾燥させてください。
- 時々製品接続ネジの弛みを点検してください。冬場の屋外使用の為急激な温度変化と燃焼における微弱な振動によりユニットバーナーやスクリーンの接続ネジが弛む場合がございます。その際ドライバーやレンチを使用して軽く増し締めして下さい。
- リフレクター天井の袋頭ネジが弛みますと、夜露や雨水が支柱を伝わりバーナー内部に侵入し、点火不具合の原因ともなります。
- ステンレス部分は通常熱せられると、金色または茶色に変色しますがこれは普通です。製品の性能に影響を及ぼすものではございません。
- ボンベ収納ケースには必要流量の換気口が加工されています。ゴミ等が付着し換気口が塞がらないようにいつも清掃を心がけてください。
- 蜘蛛などの昆虫はガスの臭いを好み集まってきます。バーナー内部に侵入した虫の巣や蜘蛛の巣は、バーナーの不完全燃焼やフラッシュバックを引き起こす事もございます。年に一度はバーナースクリーンを取り外し、バーナー周囲をブラシや掃除機を使用して綺麗に心がけて下さい。

トラブルシューティング

症状	原因	処置
バーナーが黄色い炎で燃える	虫などの巣がバーナー内部に進入している	スクリーンを外し、バーナー部分を清掃する
バーナーはツマミでは火が点かないが、マッチでは火が点く	乾電池の消耗または取り付けが間違っている 電極線が弛んでいるか適正な電極間になってない	新しい乾電池に交換する 電気工事の技術者に修理を依頼するか販売店に相談する
放電スパークは起きるがバーナーに火が点かない	ボンベの元栓が締まっている ヒューズガス栓が規格に合っていない	元栓をゆっくりと開く 適正なヒューズガス栓に交換する 元栓を閉めて、再度元栓とガス栓を静かにゆっくり開ける
バーナーに火は点くがツマミを放すと消えてしまう	接点不良または腐食※ サーモカップルの破損 チルトスイッチの故障 電磁弁の破損	サーモカップルの接続ナットを増し締めする チルトスイッチのワイヤー交換 サーモカップルの交換 チルトスイッチの交換 電磁弁の交換
バーナーの火力が小さい (音を出す)	ガス不足 燃焼ホースが折れている バーナー炎孔が汚れているか詰まっている ガスノズルが汚れているか詰まっている 虫などの巣がバーナー内部に進入している ガス圧力調整器の低流量	ガスボンベの量を確認する ガスボンベを交換する 折れている箇所を修正する スクリーンを外しバーナーを清掃する オリフィスの清掃または交換が必用(販売店に相談する) 点火の操作を正確に行なう

※本製品は屋外でご使用いただくものですが、雨や夜露に濡れる場所に放置しますと、電気系統の接点箇所が腐食したり、コントロールバルブケースの内部が結露により電磁弁がショートし破損に至ります。ご使用後は
屋内に移動し保管
願います。

- ※ガスボンベの元栓を開ける時には必ず器具詮ツマミは「消化」の位置になければなりません。圧力を等しく導く為にボンベの弁をゆっくりと開けてください。
- ※この製品をはじめてご使用される場合やボンベを交換された時、製品のガス通路に空気が侵入し、点火しづらい場合がございます。
- ※この製品をはじめてご使用される場合、稀にバーナーが大きな音を立てて燃焼する場合がございます。過吸気によるものですので、消化と点火を何度か繰り返しスクリーンが熱せられると安定します。それでも治まらない場合には販売店にご相談下さい。

＊ ＊ パティオヒーター：返却手順 ＊ ＊

①



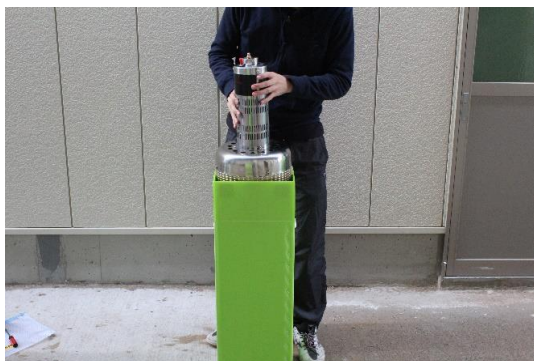
- ・はずしたネジは付属のビニール袋に入れてカバーとドライバーなどと一緒に袋に入れてください。

②



- ・リフレクター(反射板)の部分が入っていた箱に入れてふたを閉めて返却用貼り付け位置に返却用伝票を貼ってください。

③



- ・ガスホースをバーナーから取り外してください。
- バーナー部分が入っていた箱にバーナー部分を下にしていれてください。

④



プラスチックキャップ
は

- ・プラスチックキャップと一緒にバーナーの箱に入れて下さい。

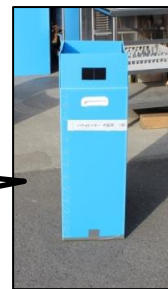
＊ ＊ パティオヒーター：返却手順 ＊ ＊

⑤



- ・ 箱を閉じボンベ収納部分に入れてください。

バーナー部分の箱の
全体写真



⑥



- ・ ボンベ収納部分をしっかり閉じて下さい。

⑦



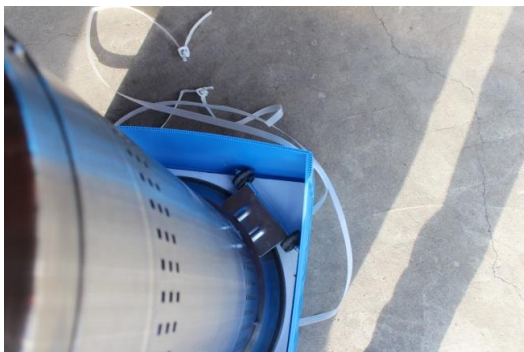
- ・ ボンベ収納部分が入っていた底の部分を置いて下さい。

POINT



- ・ 車輪の部分と頭の部分を持つと持ち上げやすいです。
- ・ 重いので2人で持ち上げることをオススメします。

⑧



- ・ ボンベ収納部分の車輪が写真のように箱の角になるように入れてください。

＊ ＊ パティオヒーター：返却手順 ＊ ＊

⑨



- ・ 写真のようにセンターポール部分をエアークッションで包んで入れて下さい。

⑩



- ・ 取扱説明書とセキュリティワイヤー、ガスコード、ドライバー、レンチ、ネジ・ナット類を箱の中に入れて下さい。



⑪



- ・ 上から箱をかぶせて、返却用貼り付け位置に伝票を貼って写真のようにPPバンドをとめてください。

*** * パティオヒーター:返却手順 * ***